



頑張る学校・地域！応援プロジェクト「学校と地域の連携推進モデル事業」

栃木県教育委員会が「学校と地域の連携推進モデル事業」を実施し、2年目になります。今年度は上三川町教育委員会と宇都宮市教育委員会の協力をいただき、上三川町立上三川中学校と宇都宮市立御幸小学校をモデル校に事業を進めていきます。

ふれあいKAWACHI ネットでは、管内中学校と高等学校、特別支援学校、そして上三川中学校区にお住まいの方を対象に、上三川中学校の取組を年間3回お伝えしていきます。本事業への御理解をお願いします。

学校と地域の連携推進モデル事業

- 1 目的 新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を実現するため、「地域とともにある学校づくり」及び、「学校を核とした地域づくり」の充実を図る。

- ・ 子どもたちの豊かな人間性や主体的に考える態度を育む。
- ・ 子どもの学びを支える地域の教育力向上を図る。

- 2 概要 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、学校と地域の連携・協働を一層推進していくことが重要であることから、学校や地域の求めに応じて支援チームを派遣し、体制づくりや校内研修、連携活動等への支援を実施する。

- 3 主催 栃木県教育委員会

- 4 期間 令和2年度から3年間までを予定（モデル校は単年度の指定）

5 内容

- (1) 学校と地域の連携推進会議の実施：基本方針の立案や活動の確認、評価・改善を行う。
- (2) 支援チームの派遣：マイスターを中心とする支援チームが活動支援を行う。
- (3) モデル校における取組

ア 連携会議の実施：モデル校の実施に関する具体的な協議を行う。

イ 連携事業の実施：学校及び地域の実情に応じた協働活動を行う。

ウ 校内研修の実施：地域学校協働活動の理解を促進するための研修を開催する。



マイスター：学校と地域の連携・協働に知見のある方

上三川町立上三川中学校（モデル校）の取組

- ・ モデル事業として、学校にある梅の木を利用した「梅ジュース」作りをはじめとした、現在行っている地域学校協働活動を設定し、活動に関する学校と地域の目標を共有するとともに、地域人材の多様なネットワーク構築を図るため、これまで以上に、生徒と教職員、地域の人に参加するための工夫を行っていきます。
- ・ 事業を実施するにあたり、学校支援コーディネーターと管理職をはじめとした教職員との良好な関係を生かしながら、関係機関等との連携を図るほか、学校支援コーディネーターのネットワークを活用していきます。
- ・ 本事業の連携会議委員の皆さまを紹介します（敬称略）。1年間、よろしくお願いします。

長澤 明博（親父の会会長）

海老原 孝男（同窓会副会長）

和知 知明（PTA会長）

隅内 和男（自治会長・元校長）

佐藤 広子（学校支援コーディネーター）

河合 美由紀（学校支援コーディネーター）

直井 喜江子（民生委員）

猪瀬 藤衛（部活動指導員・元校長）

宮崎 学（PTA役員）

高橋 寮（学校支援ボランティア）

藤田 正義（校長）

山崎 昌彦（教頭）

松本 浩子（地域連携教員）

高田 玄・石塚 秀幸（河内教育事務所ふれあい学習課）計15名



頑張る学校・地域！応援プロジェクトに関する問合せ

河内教育事務所ふれあい学習課 TEL028-626-3183 E-mail:kawachi-fureai@pref.tochigi.lg.jp